

マーケットの動き（2025年12月15日～12月19日）

先週の米国株式市場は、前週末比でS&P500種株価指数は上昇した一方、NYダウは下落しました。

週前半は、AI（人工知能）投資を巡る懸念などから、ハイテク株を中心に株価は下落しました。その後は、18日発表の11月の米国CPI（消費者物価指数）が市場予想を下回り利下げ観測が高まることに加え、米大手半導体メーカーの決算結果を受けてAI関連株への見直し買いが入るなどし、株価は上昇に転じました。

欧州株式市場は、前週末比で上昇しました。

投資環境見通し（2025年12月）

外国株式相場は、米国、欧州ともにレンジ内での動き

企業業績については、米国関税政策の影響は限定的で、AI（人工知能）関連が主導しながら底堅く推移するとみられます。

米国株式相場はこれまでの上昇から過熱感が意識され、上値が重くなるとみられますが、FRB（米国連邦準備制度理事会）の利下げに対する基本姿勢に変化なしとみられ、レンジ内での動きになるとみています。欧州株式相場は、米国関税政策の輸出に対する影響が懸念されますが、今後本格化するとみられる域内各国の財政政策に支えられ、米国株式相場と同様にレンジ内で推移するとみています。

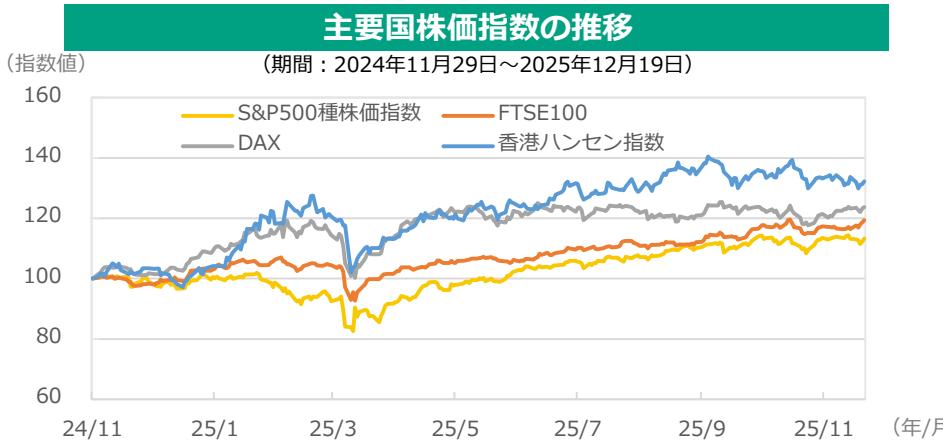
	12月19日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	6,834.50	0.10%	2.90%	14.27%	16.49%
NYダウ	48,134.89	▲0.67%	4.33%	14.14%	13.68%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202512_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は、個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それに関する著作権等の一切の権利は、それを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>



※2024年11月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成